

寿命長遠（仏さまの永遠の命を頂く）

法華経薬王菩薩本事品第二十三

此経則為

えんぶだいにん

閻浮提人

びようしろうやく

病之良薬

にやくにんうびよう

若人有病

とくもんぜきよう

得聞是経

びようそくしようめつ

病即消滅

ふろうふし

不老不死

この経は則ちこれ

えんぶだいにん

閻浮提の人の病の

りようやく

良薬なり。

もし人病あらんに

この経を聞くこと

え

を得ば、病すなわら

しようめつ

消滅して不老不死

ふろうふし

ならん

大意◆この経文は薬王菩薩

本事品のお言葉で「法華経

は、この世を生きる人の良

薬である。もし病の人が、

この法華経を聞くことがあ

ったならば、病は消滅して、

不老不死となるであろう」

と述べられています。

日蓮聖人も、小湊に帰省さ

れた折、あたかも母が病で

息を引きとったのを薬王品

の二十八字の文を持って祈

ったところ、たちまち蘇生

され、さらに四か年の寿命

を延ばすことができたと思

べられています。